



山根尋常小学校

昭和10年代前半(岸 久子さん提供)

山根尋常小学校は、明治24年に開校し、昭和14年に毛呂村と山根村が合併し、毛呂山小学校西分教場と名前を変え昭和25年に廃校になるまで存在しました。現在この場所には、老人福祉センター山根荘があります。今となっては、学校があった面影は感じられませんが、山根荘の南側に当時の校門がひっそりと残されています。



現在の風景



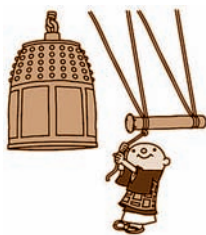
当時を偲ばせる校門

募集中

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。ご提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係☎(295)2112内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

除夜の鐘



除夜の鐘とは、12月31日の大晦日の夜に寺院などで撞かれる鐘のことで、一年で最後の日である大晦日は、古い年を除き新年を迎えるという意味から除日ともいわれます。除夜とは除日の夜のことで、そのときに撞かれる鐘のため除夜の鐘といえます。

除夜に撞かれる鐘の数は108つとなり、これは人の煩惱の数とされています。煩惱は「心を惑わし身を悩ませるもの」のことを指しますが、鐘を一回撞くごとに煩惱をひとつずつ取り除き、清らかな心で新年を迎えようというわけです。また108という数は、4×9と8×9をたすと108になることから、「四苦八苦」を取り払う数であるともいわれています。一般に、除夜に撞かれる108の鐘は、107回を大晦日の夜のうちに撞きます。残りの1回は、前年の煩惱に惑わされないようにという意味を込めて新年に撞かれます。余談ではありますが、108という数は、煩惱の数以外にも数珠の玉の数や野球のボールの縫い目の数にも使われています。また、茶寿は、108歳のお祝いのことです。

本年もあと僅かとなりました。今年は、地震や水害など世界的に災害の多い年ではなかったでしょうか。日本においても、3月11日の東日本大震災によって尊い命が失われました。このような災いは、除夜の鐘とともにひとつずつ取り除き、清らかで平穏な新年を迎えたいものです。

町の秋行事がひととおり終了すると年末を感じるようになってきます。今年もこの時期を無事にむかえられたことに、胸を撫で下ろしています。しかしながら、本年は災害の多い年でした。一日でも早い被災地の復興を願わずにはられません。そして来年は穏やかな年になることを心から祈念いたします。(1)



わがやのアイドル



齊藤 遥粋くん (2歳11か月)

車と電車が大好きな男の子です。

最近、名前を言ったり、ごっこ遊びをして元気に過ごしています。これからも明るく健やかに育てね。



泉館 羽美ちゃん (2歳)

元気いっぱいやんちゃな羽美は、体を動かして遊ぶのが大好き！最近、すべり台にハマって公園に行くと「もう1回！もう1回！」と言ってなかなか帰ろうとしません。そんな可愛い「わがやのアイドル」です。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
 申・問 役場秘書広報課☎(295)2112内線332

人口 36,256人 (-32人)
 【男 18,072人 (-18人) 女 18,184人 (-14人)】
 世帯 15,771戸 (-17戸)
 ※平成23年12月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。



植物油インキを使用しています。